

令和4年12月2日

統括的立場にある保健師様

日本公衆衛生学会理事長 磯 博康
公衆衛生看護のあり方検討委員会委員長 大森 純子

研究参加者へのお声かけに関するお願い

初冬の候、新型コロナウイルスへの対応と、地域保健活動を継続しておられることに心から敬意を表し感謝申し上げます。

この度、日本公衆衛生学会の公衆衛生看護のあり方に関する検討委員会の研究で、「行政保健師の離職意図に関連する仕事の要求と資源－新型コロナウイルス感染症への対応を経た現在と10年前との比較検討－」を行うこととなり、研究概要説明書（資料2）の通り調査を計画しています。ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、調査の主旨をご理解いただき、下記の通り研究参加候補者にお声かけいただき、調査依頼の書類をお渡しいただけますようお願い申し上げます。統括保健師の方御自身もご参加いただけますのでご検討ください。

記

1. ご協力いただきたいこと

1) 研究参加候補者となる常勤保健師に、調査票一式（資料2、3、4各1部、返送用封筒1部）をお渡しく下さい。配布人数に制限はありません。できるだけ全ての保健所、保健センター、その他保健師が所属する部署に配布していただけますと幸いです。

*自治体に所属する常勤保健師の方であれば、所属部署や年齢、性別は問いません。

*紙の調査票一式は同封した部数のみですが、WebアンケートフォームのURLとQRコードが記入された用紙（資料2）は、供覧あるいはコピーで共有していただくようお願いいたします。

2) 参加候補者となる常勤保健師の皆様へ、研究参加協力に関して以下をお伝えください。

- ・調査への参加方法は、①調査票に記入して返送する、②Web入力のどちらかです。回答は、1人1回のみとしてください。
- ・回答締切りは、1月31日（火）です。
- ・調査への参加は任意で、強制ではありません。アンケート冒頭に設置した「同意する」へのチェックおよび、回答された調査用紙の返送あるいはWeb送信をもって研究への参加を承諾していただいたものとします。
- ・調査回答は職場でとりまとめるのではなく、直接ポストに投函するか、Web送信で提出します。
- ・所要時間は、15～20分程度です。
- ・調査に関して質問がある方は、直接、問合せできます。

2. 倫理的配慮

- ・この研究は、日本赤十字看護大学研究倫理審査委員会の承認を得ています（承認番号：2022-069）。
- ・調査への協力は自由意思にもとづきます。調査内容は本研究以外の目的に使用することはございません。調査は匿名でご回答いただきますので、分析の経過でも結果の公表においても個人名および所属施設が特定されることはありません。
- ・本調査につきまして、ご不明な点がありましたら、連絡先までお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

以上